

各 位

2015年10月5日
株式会社インプレス

ビッグデータ/IoT デバイスから SDN/NFV、5G、関連する市場動向までを徹底解説 『M2M/IoT を支える最新モバイルネットワーク技術 2015-2016』

9月30日（水）に発売

<https://r.impressrd.jp/iil/M2M2015>

インプレスグループで IT 関連出版メディア事業、及びパートナー出版事業、デジタルメディア&サービス事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：関本彰大）は、世界的な大波となって注目されている「M2M/IoT」の最新動向を網羅して解説した『M2M/IoT を支える最新モバイルネットワーク技術 2015-2016』を、9月30日（水）に発売しました。

5年後の2020年には、世界の500億個のものデバイスがインターネットに接続され活用される時代を迎えるといわれ、周辺技術やビジネスに大きなパラダイムシフトが起こっています。このような膨大なデバイスが接続される背景には、例えば、製造業分野におけるドイツの Industrie 4.0、米国の IIC (Industrial Internet Consortium)、そして日本の IVI (Industrial Value Chain Initiative) などによる第4次産業革命といわれている動きがあります。さらにこれに加えて、「エネルギー」「医療」「農業」「住宅」「家電」分野に至るまで M2M/IoT の取り組みが同時進行の広がりを持ち、業界の境界領域を越えてシームレスに展開されています。

このような産業革命を具体化し推進するキーワードとして、「M2M」（マシンとマシンのコミュニケーション）や「IoT」（モノのインターネット）が登場し、産業界に急速に普及し始めています。本書はこのような「M2M/IoT 時代の幕開け」の動きをとらえ、「M2M/IoT を支えるモバイルネットワーク技術」を中心とした動向を整理して解説しています。

「M2M/IoT」の中心的な動向を見ると、次のように整理できます。

- (1) スマートフォン/タブレット、高性能センサー、ウェアラブルなど M2M/IoT デバイスの小型化、高性能化、低価格化の進行。Facebook、LINE などのソーシャルメディアや利用技術の普及
- (2) モバイルにおける第4世代（4G）に次ぐ第5世代（5G）への展開
- (3) ビッグデータとそのデータ収集・処理・解析システムの進展
- (4) M2M/IoT 関連の各種アライアンスやコンソーシアム、展示会などの活発な動き
- (5) コネクテッドカー、スマートハウス、スマートシティなどの社会的な普及
- (6) M2M/IoT に関する活発な国際標準化の活動とその進展

このような動きをとらえ、本書の具体的な動向は、次のような構成となっています。

第1章では、M2M/IoT の市場動向と IoT デバイスの最新動向について、MWC2015 (Mobile World Congress、世界最大のモバイル業界の展示会) で公表された GSMA (GSM 協会) のデータを中心に、世界の M2M/IoT とモバイルネットワーク業界の市場動向をとらえていきます。

第2章では、最近、具体的な成果（製品など）を次々に発表し、意欲的な展開を見せる AllSeen アライア

ンスを中心にその最新動向を解説しています。

第3章では、現在の移動通信システムが第4世代(4G)の普及から第5世代(5G)への開発が具体化しようとしているときに、急増するトラフィックの解決策として、ライセンスバンド(免許が必要な周波数帯)とアンライセンスバンド(免許不要の周波数帯)の競合と共存が注目されている中で、モバイル通信事業者や通信機器ベンダが5Gへ向けて、どのようにアプローチしているのかを見ていきます。

続く第4章と第5章では、2020年の商用化に向けた国際的な5Gへの取り組みを概観しています。まず第4章で、5Gを実現するための主な5つの技術やNTTドコモが行ってきた各ベンダとの5G伝送実験システムの成果を見たあと、第5章では、MWC2015での取材を中心とした5Gへの道を概観しています。ここで各社の5G導入に向けたロードマップや、世界の通信キャリアやベンダの具体的な5Gの実験や取り組みについて整理しています。

第6章では、M2Mが対象とするビジネス市場や広がりを見せるM2Mソリューションビジネスの世界を見ながら、最近のM2M関連のトピックを整理しています。その中で、実用期を迎え国際的に注目されている仮想化技術(SDN/NFV)に関する最新動向についても紹介しています。

第7章は、M2Mのコアネットワーク(基幹網)として、標準化が活発化してきたETSIにおけるNFVの標準化(例:vEPCなど)や、ONFにおけるSDNの標準化(例:ONFのOpenFlowなど)の動向を解説したあと、oneM2Mや3GPPなど各標準化団体における「M2Mプラットフォーム」標準化の取組みについて解説しています。

第8章では、ビッグデータビジネスへの参入企業の共通項を分析しながら、MWC2015出展企業を中心に各社の戦略を交えて紹介しています。

第9章では、欧州発のスマートハウス/スマートビルの中核技術「KNX」による「KNXシティ構想」が国際的スケールで導入・普及フェーズを迎えているところから、KNXシティを中心に紹介しています。持続可能な都市を形成するために、いかにして全体的な解決策を打ち出すことができるか、また、そのためには建物とどう対話すべきかを示しています。

市場調査によれば、世界のIoT市場規模は2020年に向けて280兆円、日本国内のIoT市場は2019年には16兆4,221億円になると予測されていますが、本書は、2020年までの技術・市場動向をキャッチアップし、M2M/IoTビジネス成功に役立てただけの一冊となっています。

<<調査報告書の製品形態、および販売に関するご案内>>

M2M/IoTを支える最新モバイルネットワーク技術 2015-2016

[ビッグデータ/IoTデバイスからSDN/NFV、5G、関連する市場動向]

大澤 智喜、服部 武、インプレス SmartGrid ニュースレター編集部 [著]

<<製品形態・販売価格一覧>>

発売日 : 2015年9月30日(水)

価格 : CD(PDF)版 85,000円+税

CD(PDF)+冊子版 95,000円+税

判型 : A4判

ページ数 : 442ページ

詳細、ご注文は右よりご覧ください。 → <https://r.impressrd.jp/iil/M2M2015>

【調査報告書 購入に関するお問い合わせ先】

株式会社インプレス 法人営業局 営業 2 部

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地 TEL : 03-6837-4631 FAX : 03-6837-4648

E-mail : report-sales@impress.co.jp

【株式会社インプレス】 <http://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：関本彰大、証券コード：東証 1 部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。